

できることから取り組んでいます 地域における津波対策

地震だ、津波だ、さあ逃げろ！

東 海・東南海地震による津波が心配される田原市。各種調査による新たな被害予測などが示されるのは、まだ先となりますが、過去の記録や想定より大きな津波が「起こりうる」という視点に立ち、市民の皆さんと協力しながら、さまざまな津波対策をスタートさせています。はじめに、地域での取り組みをご紹介します。



●津波避難マップの作成風景（清田校区）

津波避難マップを作成中

今回の震災で得られた教訓として最も重要なことは、「とにかく高い所へ素早く逃げる」ということでした。したがって、津波の襲来が予想される地域において、いち早く高台へ逃げる仕組みを作り上げることが必要となります。

現在、市と各校区が協働で津波避難マップの作成を進めています。地形や生活環境、交通事情、過去の災害史など、その地域の人だからこそ知りうる情報を収集し、現実的なマップ作りに役立てています。

●全世帯へ配布

津波避難マップは、全20校区中、津波の恐れのある16校区（地区）において作成しています。マップは地域ごとに全世帯へ配布する予定で、すでに完成・配布した校区もあります。お手元に届いたら、見やすいところに掲示し、避難ルートを実際に歩いてみるなど、日ごろから防災意識を高めておきましょう。

※残り4校区は地震避難マップを作成予定

●左の津波避難マップは福江地区の見本です。津波が心配される校区（地区）では、同様のマップが作成されています。

●津波浸水区域や避難対象区域、避難場所、避難ルート、海拔表示などが詳細に記載されています。

